

土木学会第 64 回海岸工学講演会にて研究発表・講演を行いました (2017/10/25-27)

テーマ：災害科学，海岸工学，津波工学
 場所：TKP 札幌駅カンファレンスセンター（北海道札幌市）

10月25日(水)～27日(金)の3日間，TKP 札幌駅カンファレンスセンター(北海道札幌市)で土木学会が主催する「第 64 回海岸工学講演会」が開催されました。土木学会海岸工学委員会では，査読付きの論文集である「土木学会論文集 B2 (海岸工学)」を編纂しています。海岸工学講演会は，この論文集に掲載された論文について発表会を行い，参加者との意見交換を行うものです。当研究室からは学術講演会で 12 編の論文が採択され，アナワット准教，佐藤翔輔助教，山下助教，林助手，久松 (D3)，牧野嶋 (D2)，戸川 (M2)，長谷川 (M2)，大竹 (M1) が登壇し発表しました。各発表者の講演題目等は次の通りです：

- 多数シナリオ津波避難シミュレーションによる確率論的避難安全性の評価：○牧野嶋文泰，今村文彦，安倍祥
- 最新 400 年間の地震記録に基づく過去と将来のグローバル津波ハザード評価：○大竹拓郎，サッパシー アナワット，今村文彦，ほか
- 津波伝承知メディアによる人的被害低減効果の統計的分析—東日本大震災で被災した岩手県・宮城県における津波碑と津波由来地名に着目して—：○佐藤翔輔，奥村誠，今村文彦，ほか
- 津波避難訓練が実際の津波避難行動に及ぼす効果 —宮城県石巻市 2016 年 11 月 22 日福島県沖地震津波時の事例—：○戸川直希，佐藤翔輔，今村文彦，ほか
- 東日本大震災発生前における津波碑に対する岩手県陸前高田市の住民の認知・認識：○佐藤翔輔，○平川雄太，今村文彦，ほか
- 東日本大震災での津波による被害実態に基づく推計曝露人口と人的被害の関係：○長谷川夏来，サッパシー アナワット，今村文彦，ほか
- 2016 年福島県沖地震津波の数値解析と現地調査：○サッパシー・アナワット，山下啓，○林晃大，今村文彦，ほか
- 宮城県石巻市における 2016 年 11 月 22 日福島県沖の地震津波による避難行動実態：○佐藤翔輔，今村文彦，○岩崎雅宏，ほか
- 土砂移動が及ぼす津波ハザード及び建物被害への影響 —東日本大震災の宮城県気仙沼市における津波氾濫・土砂移動・船舶漂流の統合計算—：○山下啓，今村文彦，ほか
- 引き波増大に及ぼす津波土砂移動及び沖合津波波形の影響評価：○山下啓，今村文彦，○岩間俊二，ほか
- 海岸林の空間的設計手法の提案—宮城県岩沼市を対象として—：○大平浩之，山下啓，林晃大，今村文彦
- Developing Fragility Functions Based on Aquaculture Raft and Eelgrass due to Tsunami Damage: A Case Study of Mangokuura Lake：○サッパシー・アナワット，山下啓，今村文彦，ほか
- 円錐型断層モデルによる 2011 年東北地方太平洋沖地震のすべり分布と津波波形の再現：○久松明史，今村文彦，ほか

下線は研究室構成員。



牧野嶋文泰 (D2)



長谷川夏来 (M2)



大竹拓郎 (M1)